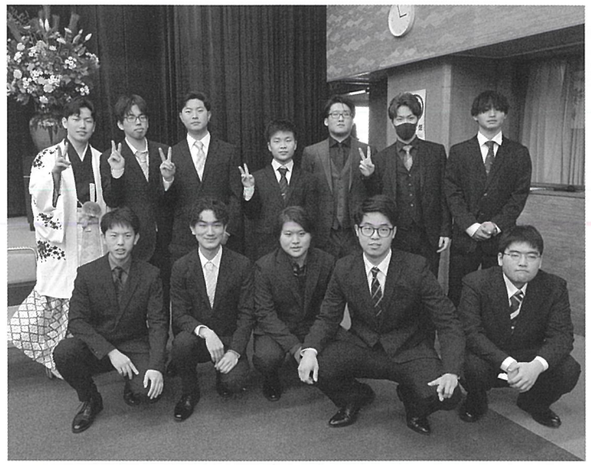
広報

くどやま

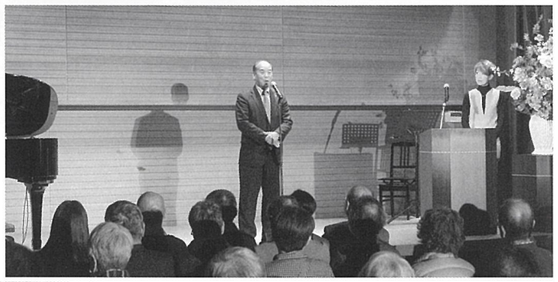
2025
2月号
No.592

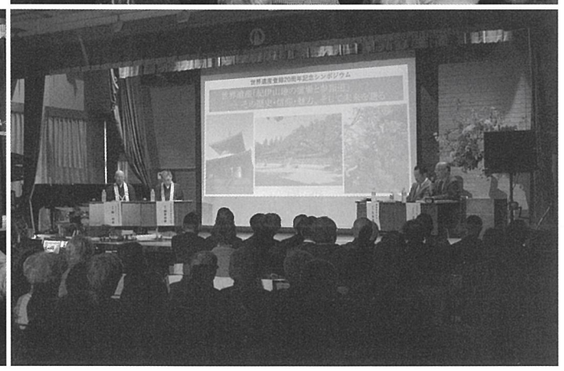


20th anniversary

世界遺産登録20周年記念 紀伊山地の霊場と参詣道

12月7日に開催された第6弾記念シンポジウム“世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」その歴史・信仰・魅力、そして未来を語る”が盛大に開催されました。オープニングはピアノとバイオリンの演奏で始まり、各パネラーのそれぞれの寺社紹介や世界遺産のお話はとても興味深く、最後は皆さんが出そろい笑いも交えながら楽しい時間を過ごしていただきました。





消防車両の引渡式を実施

12月13日、ふるさとセンター玄関前において、消防車の引渡式が行われました。

今回、第3分団下古沢班に、小型動力ポンプ付消防積載車を更新・配備しました。

小型動力ポンプ付消防積載車は、消防活動の主力となる車両で、持ち運びが可能な可搬式の小型動力ポンプを積載したものです。

今回の配備により、九度山町消防団の消火活動能力のさらなる向上が期待されます。

令和7年二十歳を祝う会

1月12日、九度山町ふるさとセンターにおいて、「二十歳を祝う会」が開催され、本年度二十歳となる方々が未来への希望と大人としての自覚を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

今年は、平成16年4月2日から平成17年4月1日までの間に生まれた方々が出席しました。

会場には、華やかな振り袖や真新しいスーツ姿の方たちが、久しぶりに会う友人たちと思い出話や近況報告などに花を咲かせていました。

式典では、辻教育長をはじめ来賓の方々から激励の言葉が贈られました。

また、九度山保育所の子どもたちからもお祝いの歌や和太鼓、メッセージを送り、二十歳の方々を祝福しました。

式典終了後、二十歳の方々は、辻教育長と約30分間、フリートークを行い、現在の状況や将来の夢が語られました。

これから夢の実現に向けて歩んでいく皆さんの輝かしい未来をお祈りします。

▲記念品贈呈　代表　小前さん

▲誓いの言葉を述べる小野寺さん

紙遊苑を会場に「源氏物語絵巻 絵画展」が開催されました

紀の川市に在住する日本画家の満田彗峰画伯が、勝利寺の歴史にまつわる人物として九度山町史にも記述のある「藤原道長」（平安時代中期に朝廷に仕えた大臣で、歌人でもある。源氏物語作者の紫式部が「源氏の君」のモデルとした人物とされる。）を同寺や紙遊苑に強くイメージし、「この場所で『源氏物語絵巻絵画展』を開催したい」と熱望されたことから、絵画展がはじまりました。

これまで源氏物語第１帖「桐壺」から今春の第 28 帖「野分」までを展示しました。

11 月 30 日、12 月１日の両日で 150 名を超える皆様方においでいただき、今回は第４弾として第 29 帖「行華」から第 35 帖「若菜下」までの作品を披露され、来場者の目を楽しませました。併せて満田先生のお知り合いの茶道の先生方によるお茶席も設けられ庭園を眺めながらお点前やお茶を大勢の皆様方にお楽しみいただきました。

子ども英語教室の皆さんが歌やゲームでクリスマス会を楽しみました！

毎週、水曜日・木曜日、公民館で、２歳児から５歳児までを対象に町内在住の英語助手のクリス先生やアンジェラ先生に楽しく英会話を習っている『公民館子ども英語教室』のクリスマス会が、12 月 19 日開催されました。

当日は、幼児や保護者の方々も含めたくさんの方々が参加し、ゲームや英語の歌など楽しみました。英語教室の先生やサンタさんからクリスマスプレゼントをもらって大喜びの子どもたちでした。

車いす寄贈について

11 月 26 日、一般社団法人和歌山県産業資源循環協会様から車いす１台を寄贈いただきました。

寄贈された車いすは九度山町役場庁舎へ配置し、ご来庁いただいた方への貸し出し用車いすとして大切に使用させていただきます。

「税についての作文」 九度山町長賞・大桑教育文化振興財団理事長賞

全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が募集した中学生の「税についての作文」は、全国で 43,572 作品（粉河税務署管内 1,143 校）の応募があり、審査の結果、九度山中学校３年生の嶋田有彩さんの作品が九度山町長賞、河根中学校３年生の中濵恵理華さんの作品が大桑教育文化振興財団理事長賞として、それぞれ選出されました。

九度山町長賞 「私たちで作る町づくり」 九度山中学校　３年　嶋田　有彩

私は、税金についてよく知らなかったので、普段からあまり意識したことがありませんでした。

先日、税理士の方が学校にいらっしゃり、税金についての授業をしてくださいました。税金とはどういうものか、どのような使い道があるのかなどをくわしく教えてくださいました。

私はこの授業をきっかけに税金に興味が湧き、インターネットで調べることにしました。

税金とは、公共サービス、公共施設などをつくるために必要なお金をみんなで出し合い、負担するものです。税を納めることは、国民の三大義務の一つです。

税金は、大きく分けて二つあります。一つは、国に税金を納める「国税」。もう一つは、地方公共団体に税金を納める「地方税」があります。

国税は、私たちの生活と安全を維持するために使われます。医療費の補助や道路の整備、教育や研究の援助などです。

地方税は、住民生活を支える行政サービスの提供に必要な財源として使われます。

他にもたくさんの種類の税金があり、どれも私たちが生活していく上で大切な税金だということがわかりました。

私は、税金について知り、税金を納めることは、国民全員で協力プレイすることだと考えました。電話一本で救急車や消防車がくるのは、国民の協力があるからであり、税金を納めないと、私たちのくらしはこんなにも平和で、豊かではないと思います。

私は、熱中症になり、救急車で運ばれたことがあります。体は熱く、手足はしびれ、怖さのあまり泣いていました。けれど、急いでかけつけてくださった救急救命士の人たちが優しく声をかけてくださり、とても安心しました。

この経験から私は、国民の人々が税金を納めてくれているから、救急車で病院にいけたので、あたりまえなことだと思わず、日々感謝しながら生活していこうと思いました。

私たち学徒が、整った環境で、学べることも、税金があるからで、税金を納める国民の人々がいるからだと分かりました。

私は、税金について知ることができたので、これからは、感謝の気持ちを常に持ち、生活していきたいと思います。そして、私が大人になったら、一生懸命働いて、次の世代のために、税金を納めようと思います。

大桑教育文化振興財団理事長賞 「税金との関わり方」 河根中学校　３年　中濵　恵理華

私は先日、学校の授業で税務署の方が税についてを教えにきてくださり色々なことを学びました。税金の使い道や日本だけでなく外国にはどんな税金があるのか、私達が税金を払わないとどうなってしまうのかなどです。税について知り、私には疑問がうまれました。それは人々はなぜ「税金を払いたくない」と思うのかです。

まずネットで調べてみることにしました。調べてみると、もちろんお金はなるべく払いたくないというのもありましたし、サービスを受けている実感がない、そもそも税金について知らないなど沢山の理由がみられました。しかし、税金を払いたくないと思ったところで税金を納めることは義務でサービスを受けているのは事実です。なので税金についてを知り、私達は税金と共にうまく生活していくしかないと改めて感じました。

次に、人口と税の関係について着目しました。今、日本では少子高齢化が大きな問題となっています。少子高齢化の原因として様々なものがあると思います。私はその原因の中で少なからず自殺する人がいるということも含まれると考えました。皆さんの学校で使っている教材などに税金を使っていることは知っていると思います。しかし、いじめやその他の原因で自殺し、それは学生だけではとどまらずパワーハラスメントなど大人の方達までもが自殺でなくとも過労死であったりだとかで亡くなっています。ネットでこれについての情報は見つけられませんでしたが、いじめをなくすための団体やスクールカウンセラーの方などいじめ対策にも税金は使われていると考えました。いじめひとつで沢山の税金を使い、沢山の人が亡くなっています。そうなると少子高齢化は進み、税金を納める人が減り、これからの社会を背負っていく若者も減ります。

つまり何が言いたいのかというと、自分の人となりを見直し改善したり、いじめはしないという当たり前の事をするだけで他のことにまわせる税金が増えますよね。交通ルールを守るという当たり前のことをするだけでも税金の無駄使いを減らし、これからおこるといわれている南海トラフの対策、復興などにまわせる税金がもっと増えると思います。

これらのように私達の生活と税金の関わりはとても深く、言い出すときりがありません。しかし結局は税金と共に生きるしかない。それなら税金の無駄使いをどれだけ減らせるかがやはり大事になってくるのではないでしょうか。

九度山ジュニアソフトが優秀な成績！

10月20日、サカイキャニングパークテニスコート（橋本市）において、第19回橋本市民総合体育大会（ソフトテニス競技の部）が開催され優秀な成績を収めました。

結果（敬称略）

ジュニア（小・中学生）男子Ａクラス

準優勝　濱地　晃馬（６年：印南STC）・山田　健翔（６年）ペア

ジュニア（小・中学生）女子Ａクラス

準優勝　秋山　友花（６年：貴志川Jr）・松浦　花梨（６年）ペア

第３位　片山　紗帆（４年：印南STC）・長畠　明凛（４年）ペア

ジュニア（小・中学生）男子Ｂクラス

優　勝　長畠　健吾（３年）・濱地　海稀（３年：印南STC）ペア

第２位　見平　想典（４年）・藤井　穂（５年）ペア

11月３日、サカイキャニングパークテニスコート（橋本市）において、第28回和歌山県小学生ソフトテニス秋季選手権大会がで開催され、優秀な成績を収めました。

なお、入賞ペアは、１月25日～26日に長浜バイオ大学ドーム（滋賀県）で開催される第28回近畿小学生選抜インドアソフトテニス大会に出場しました。

結果（敬称略）

男子の部

第５位入賞　濱地　晃馬（６年：印南STC）・山田　健翔（６年）ペア

第９位入賞　見平　想典（４年）・藤井　穂（５年）ペア

第９位入賞　濱地　海稀（３年：印南STC）・長畠　健吾（３年）ペア

女子の部

第５位入賞　秋山　友花（６年：貴志川Jr）・松浦　花梨（６年）ペア

第５位入賞　片山　紗帆（４年：印南STC）・長畠　明凛（５年）ペア

▲後列左から 松浦 秋山 長畠明 片山
前列左から 濱地 長畠健 山田 濱地 見平 藤井

11月24日、紀の川市民公園テニスコート（紀の川市）においてで第34回少年少女（兼GOSEN CUP）ソフトテニス大会が開催され優秀な成績を収めました。

結果（敬称略）

男子の部　準優勝　濱地　晃馬（６年：印南STC）・山田　健翔（６年）

女子の部　準優勝　片山　紗帆（４年：印南STC）・長畠　明凛（５年）

チャレンジサバイバル低学年男子　第３位　山田　晴翔（２年）

▸左から 長畠 片山 山田晴 山田健 濱地

12月１日、和歌山県立橋本体育館において、第26回伊都地方中学生選抜ソフトテニスインドア大会が開催され、優秀な成績を納めました。

結果（敬称略）

男子の部　優　勝　森（橋本Ｊ：６年）・山田　健翔（６年）ペア

女子の部　第３位　長畠　明凛（５年）・松浦　花梨（６年）ペア

▸左から 松浦 長畠 山田

12月７日、白浜町テニスコートにおいて、第24回全国小学生ソフトテニス大会和歌山県予選会が開催されされ優秀な成績を収めました。

また、各クラスの入賞者のうち４位までは、県代表として３月29日～31日に千葉県白子町で開催される全国大会に出場します。なお、５位入賞者までが３月15日・16日に白浜町テニスコートで開催される第２回タマイカップ近畿小学生学年別ソフトテニス大会に出場します。

結果（敬称略）

５年生ダブルス男子の部

第５位　山下（日高Ｊ）（５年）・藤井　穂（５年）

５年生ダブルス女子の部

第５位　片山（印南STC）（４年）・長畠　明凛（５年）

第５位　竹田（橋本Ｊ）（５年）・北林　愛梨（４年）

第５位　西平（打田Ｊ）（５年）・丹下　穂乃花（５年）

４年生以下男子の部

第３位　濱地（印南Ｊ）（３年）・長畠　健吾（３年）

第４位　見平　想典（４年）・花田（WMC）（４年）

▲左から 北林 長畠明 丹下 長畠健 見平 藤井

永年勤続民生委員・児童委員表彰

このたび、岡充子さん、福岡満さんが、永年勤続民生委員・児童委員表彰を受賞されました。

この表彰は、これまで民生委員・児童委員として10年間にわたり活動され、社会福祉の増進に多大な貢献をされた功績によるものです。

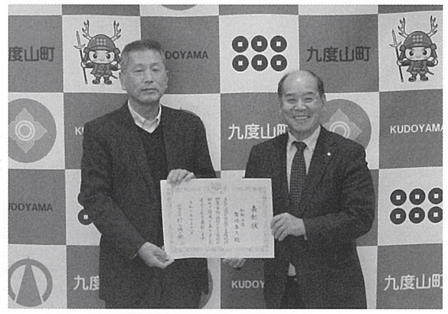
岡さんは入郷地区、福岡さんは丹生川全域を担当されています。

▲左　福岡さん

統計調査功労者表彰

このたび、統計調査において多大な貢献をされた功績により、奥崎泰久さんが総務大臣より表彰されました。

奥崎さんは、各種統計調査の調査員としてこれまで16年にわたり22回従事し、統計の普及進展に貢献した功績により授与されました。



▲左　奥崎さん

和歌山県スポーツ推進委員功労者表彰

10月26日、長年にわたり地域スポーツ普及振興に尽力した功績により、九度山町スポーツ推進委員の２名が和歌山県スポーツ推進委員功労者表彰を受賞しました。

受賞者（敬称略）

松本　孝太郎　　藪本　圭司

少年野球チームが優秀な成績！

12月８日、小学４年生以下の第７回協会長杯大会決勝戦が行われ、九度山学童軟式野球クラブと高野山少年野球クラブの連合チームが準優勝というすばらしい成績を収めました。

★随時新メンバーも募集中です！★

広報くどやま NO.592　令和7年2月1日発行　【編集・発行】九度山町役場総務課　〒648-0198　和歌山県伊都郡九度山町九度山1190　☎0736(54)2019

表彰

消防関係の表彰として、次の方々に表彰状又は感謝状が贈られました。（敬称略）

■和歌山県消防協会総裁表彰

◎20年勤続表彰

〔第１分団〕　中部　圭吾
　　土岐　嘉伸
　　阪井　亮太
〔第２分団〕　丹下　順平
〔第３分団〕　池阪　勝次
〔第４分団〕　上土谷　政高

◎５年以上勤続の退団感謝状

岡村　勝美　　池下　佳哉
久保　鉄夫　　下坊　康晶
故　菊地　太
故　横田　武志

■伊都地域消防協会長表彰

◎功績章

〔第２分団〕　玉置　雄祐
　　新田　信夫
〔第３分団〕　松岡　直樹
　　井上　大侍

◎10年勤続表彰

〔第１分団〕　中山　大介
　　石井　雄策
　　坂上　竜二
〔第２分団〕　東　和也
〔第３分団〕　松岡　直樹
　　前田　勝巳
〔第４分団〕　笹岡　雅和
　　前西　国司

■九度山町長表彰

◎15年以上勤続退団感謝状

岡村　勝美　　池下　佳哉　　久保　鉄夫　　下坊　康晶　　故　菊地　太　　故　横田　武志

【消防関係表彰の伝達】

■消防庁長官表彰

◎永年勤続功労章

〔本部〕　副団長　上田　一男

■日本消防協会長表彰

◎功績章

〔本部〕　副団長　野中　義幸

◎精績章

〔第３分団〕　下坊　康晶

◎永年勤続功労者表彰

〔第３分団〕　曽和　雅之
　　大谷　知
　　下坊　康晶
　　前田　政宏
〔第４分団〕　久保　忠雄

◎30年勤続章

〔第２分団〕　梅下　修平
　　櫻井　孝一
〔第３分団〕　吹谷　和彦
　　故　横田　武志

■和歌山県消防協会総裁表彰

◎功績章

〔第４分団〕　上土谷　幸修

町の情報（令和6年12月31日現在）
■人口　3,760人（男1,708人／女2,052人）
■世帯数　1,858世帯

最新の情報を随時配信中！　町ホームページ　町公式LINEアカウント